

連合2011平和行動がスタート

「願う」平和から「叶える」平和へ

2011 沖縄平和集会で挨拶する古賀連合会長



沖縄の「慰霊の日」である6月23日(木)に那覇市民会館で、「2011平和オキナワ集会」が行われました。この集会には全国から約900人（連合長崎からは25名）が参加しました。日米地位協定をテーマにしたシンポジウムと平和式典が行われ、改めて日米地位協定の問題点を指摘し、抜本改定を日本政府に強く求めるとともに、普天間基地の早期返還などを含む多くの課題の解決をめざして粘り強く平和運動を推進していくことが確認されました。

また、今年は沖縄経済の発展と東日本大震災の復興支援のための「沖縄物産展」も会場前で開かれ、多くの参加者が物産品の購入に協力しました。

連合長崎からの参加者は、翌日台風5号の影響で雨が降る中、南部戦跡を巡る「フィールドワーク」、「米



2011沖縄平和集会参加者（旧海軍司令部壕）

軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本改定を求める行動」にも参加し、国際通りを全国の仲間とデモ行進を行いました。

連合「2011平和行動」は、沖縄集会を皮切りに8月4日(木)～6日(土)の広島、8月7日(日)～9日(火)の長崎、9月10日(土)～11日(日)の根室と続きます。



デモ行進する連合長崎参加者

〈フィールドワーク〉平和記念公園



〈フィールドワーク〉ひめゆりの塔

連合長崎「友好首長・議員フォーラム」(スクラム21) 総会・研修会を開催しました

連合長崎「友好首長・議員フォーラム」(スクラム21)は、それぞれの立場、ならびに理念・政策を尊重しつつ、長崎県の課題の解決、ひいては長崎県の活性化に向けて幅広く意見交換を行うことを目的に、連合長崎と友好関係にある首長、各級議員を構成員とし、活動を行っています。

このスクラム21の総会・研修会を7月2日(土)15時から長崎全日空ホテルグラバーヒルズで行い、幅広く意見交換等を行うなかで認識の共有化を図りました。

総会では、69名のスクラム21構成員、2011～2012年活動方針、会則の一部改正等を確認し、最後にスクラム21代表を、元長崎県議会議員橋本希俊氏の後任として長崎県議会議員渡辺敏勝氏に交代することを満場一致で確認しました。

また、研修会はジャーナリストの上杉隆氏を招へいし「民主党政権の展望について」講演をいただきました。



勇退される元県議橋本代表



ジャーナリスト・上杉 隆様

「友好首長・議員フォーラム」(スクラム21) 県連役員名簿

役職	氏名	政党・組織	役職	氏名	政党・組織
代表	渡辺 敏勝	民主党	幹事	深堀 浩	民主党
代表代行	吉村 庄二	社民党	〃	友田 吉泰	無所属
副代表	高比良末男	民主党	〃	源城 和雄	民主党
〃	山田 博司	民主党	〃	片淵 雅夫	民主党
〃	山口 初實	民主党	〃	川村 力	連合(長選連)
〃	久野 哲	民主党	顧問	小石 隆	連合会長
〃	楠 大典	無所属	〃	高木 義明	衆議院議員
〃	鶴田 誠二	社民党	〃	福田衣里子	衆議院議員
〃	田端 康弘	連合	〃	山田 正彦	衆議院議員
事務局長	森 光一	連合	〃	宮島 大典	衆議院議員
事務局長代行	松井 利明	連合	〃	川越 孝洋	衆議院議員
〃	佐竹 明彦	連合	〃	西岡 武夫	参議院議員
事務局次長	浦本 和明	連合	〃	大久保潔重	参議院議員
〃	入江 良美	連合	〃	田上 富久	長崎市長
〃	本多 毅	連合	〃	横田修一郎	島原市長
幹事	陣内 八郎	民主党	〃	葉山 友昭	長与町長
〃	山田 朋子	民主党	〃	平瀬 研	時津町長
〃	高見 健	民主党	〃	古庄 剛	佐々町長
〃	濱口 俊幸	民主党			

連合長崎ボランティアレポート VOL.2

● 「東日本大震災」復興支援ボランティア活動の取り組み ●

連合長崎は、7月まで被災地へのボランティア活動要員の派遣を連合九州ブロックで決定したことを受けて、5月10日から18日の日程で4名のボランティア要員の派遣（連合長崎第1班）に続き、6月19日以降もボランティア要員の派遣を行っています。

今回は、派遣先から戻られた第2班～第4班の派遣者のレポートを掲載します。

なお、連合長崎はこの後も第5班（7月10日～16日）、第6班（7月17日～23日）、第7班（8月11日～20日）まで派遣する予定です。

【連合長崎第2班】

派遣期間：6月19日（日）～6月27日（月）

派遣場所：福島県会津ベースキャンプ

派遣者：中川 和久（情報労連）

私どもの派遣先では津波による直接の被害者支援ではなく、原発の20キロ圏内からの避難の方々に対する様々な支援でした。

その活動場所である福島県会津若松市の施設には原発現場直近の大熊町役場や大熊中学校などが丸ごと避難しており、原発事故の影響の大きさを実感しました。

主な活動内容は大量の支援物資の「運搬」や「仕分け」と「配給」です。物資配給の際は、配給所の出入口で「入場制限」「靴袋の受渡し」「上履きの整理」等の受付関連の作業をしながら、避難者の方々と6千回以上の挨拶と笑顔をかわしている中で、皆様方から元気を頂くことができたことが一番の思い出となっています。

また、連合九州ブロックの仲間とは同じ部屋で寝食を共にし活動や生活の中で日頃できない勉強をさせて頂いたことも大きな収穫として私の貴重な財産となりました。

全国から集まった仲間たちを見ても、良い意味で連合という組織の厚さや大きさを感じることができたことをご報告申し上げます。

【連合長崎第3班】

派遣期間：6月27日（月）～7月3日（日）

派遣場所：福島県会津ベースキャンプ

派遣者：前田 誠治（全駐労）

今回の支援ボランティアは、福島県での活動となりましたが、福島県は、地震と津波の被害に加え、原発による放射能汚染により多くの方が避難されています。

帰る家がありながら放射能汚染により、いつ帰れるのかさえ分らない不安、苛立ちがあると思います。今、福島では仮設住宅が次々と完成し、避難所から仮設住宅での生活へと変わって来ています。多くのお年寄りが一人暮らしを余儀なくされて、今後、心のケアなどのボランティア支援も必要になってくるのではないのでしょうか。

最終日に「NPO法人ハートネットふくしま」代表の挨拶で「連合の協力でやっと避難されている方々に、十分な食料も行き渡るようになりました。ありがとうございました。」と涙ながらにお礼を述べられ、また、連合福島の会長は、「連合の福島でのボランティア活動は今回で終了となりますが、まだまだ支援は必要です。9～10月ころ、またご協力いただけるように連合本部にお願いしたい。」と話されました。

どのような形になるのかわかりませんが、まだまだ福島にはボランティアによる支援が必要だと私自身も感じました。

また、機会があれば、復興のために何かしらお役に立てればと思います。

頑張れ、日本!! 頑張れ、東北!! がんばっぺ、福島!!

東京へベースキャンプまでの送迎バス



災害対策本部になっているビッグパレット福島



【連合長崎第4班】

派遣期間：7月3日(日)～7月9日(土)

派遣場所：岩手県住田ベースキャンプ

派遣者：東 俊喜(情報労連)

この一週間、本当に貴重な体験をさせていただきました。真面目でチームワーク抜群の明るく愉快的なメンバーに恵まれ、過酷な作業にもかかわらず、BCでは、楽しい一週間を送らせていただきました。

陸前高田は、自治体の機能が止まったまま、いまだに手が付かない厳しい現実を目にしました。やっと社会福祉協議会が中心に動き始めましたが、リードしていく人が他県のボランティアの方々なのです。なかなか物事が進んでいかないのは当然だと感じました。作業当初は担当エリアの地図を渡され、災害救援ボランティアとして初めて現地入りし、何から始めていいのか手探り状態でした。

私たちの班は、重機での作業を効率化するために、木類、金属類、ガラス・陶器、その他、仕分けと運搬、側溝の泥だしでした。その間に貴重な品々を集めてボランティアセンターに届けます。特に水曜日は炎天下での作業となり、かなりの疲労を感じました。しかし、たまたま通りかかった持ち主(大漁旗を収集し干していたら)に感謝のお言葉をいただきました。

作業を行いながら悲痛な気持ちになりますが、被災し

ていない私たちは、本当の意味での共有共感はできないことに気がきました。なんとか作業のモチベーションは上がりながらも、この現実をたやすく語れないような、いけないような、そんな気持ちになるのです。

しかし、この事実は沢山の方に知ってもらい更なる支援をいただかないかぎり被災地の明日はありません。安全に考慮しながら、とにかく現場をきれいにして、貴重品を本人に届くように黙々と作業を進め前進するしかありませんでした。

陸前高田を含む海岸線の地域は、ほとんどの家屋が倒壊しており、わずかに家の基礎部分しか残っていないのです。おそらく復興までかなりの年月を要することは間違いないと思ってしまう。あらためて我が町、長崎をよくみていると、東日本大震災規模の津波がくると間違いなく壊滅すると思います。何処でも高台以外は同じだと思えます。

陸前高田は、沢山の松や木材が津波と共に街に押し寄せたそうです。だからいつそのこと壊滅状態になったのかもしれませんが。壊滅した家屋となんとか残った家屋は、ちょっとした高低差で、ちょっとした場所で、本当に紙一重と実感しました。被災は人事ではなく日本全体の問題だと思えますし、これからも支援やボランティアは続いていかなければいけません。今回のボランティアの方々も、できれば再度行きたいと思っているようです。だからもっと人をかけていかないといけないと感じています。国も会社も労働組合も、もっと支援活動しやすい仕組みが出来ればと思います。支援したい方が、どんどん現地に行って支援できるような体制。たとえばボランティア休暇は、個人の休暇ではなく、もっと優遇された休暇(組休)にするとか、長期でも可能にするとか、考えればもっとあると思うのです。

最後になりますが、またタイミングをみて参加しようと思います。今回の災害救援ボランティアのご準備ならびにご連絡・調整など、すべてにおいてご配慮をいただきました連合およびNTT労組の方々には大変感謝しております。

この文面にて、お礼とさせていただきます。



届けアジア・アフリカの人々へ!

～連合長崎支援米の取り組み

東日本大震災の影響で、今年の見組みについて検討を行いました。例年通り見組みを行うことを決めた「連合長崎ボランティア活動 アジア・アフリカ支援米活動」が始まりました。

今年は、例年になく梅雨時期の降水量が多く、雨が降りしきるなか支援田の田植え作業を行われた地域協議会もありました。また、長崎地協、諫早地協では大雨警報が発令したため予定していた日に田植えを行うことが出来ませんでした。

地球上には60億人近くの人々が生活しており、さらに1年間に9,000万人近く増え続け、2,025年には、80億人に達すると予測されています。アジア・カンボジアの人々のため、支援活動を行いましょ。

地協名	実施日	参加者数
長崎地協	2011年6月12日(日)	大雨警報で延期
諫早地協	2011年6月12日(日)	大雨警報で延期
佐世保地協	2011年6月19日(日)	39名(大人36・子ども3)
佐世保地協北松ブロック	2011年7月9日(土)	12名
島原地協	2011年6月26日(日)	30名
壱岐地協	2011年6月5日(日)	15名
五島地協	2011年6月18日(土)	26名(大人18・子ども8)



五島地協



島原地協



佐世保地協



北松ブロック

連合長崎男女平等月間「学習会」を開催!

～女性労働者を取りまく状況と課題～

連合は、1991年男女平等参画推進計画を決定し、現在、実行期間を2006年11月から2012年10月の6年間とする「連合第3次男女平等参画推進計画」の取り組みを進めています。連合本部、構成組織・単組、地方連合会の統一目標を①運動方針に男女平等参画を明記する、②女性組合員比率の女性役員を配置する、③女性役員ゼロ組織をなくすとし、2年ごとに進捗状況を点検してきました。

また、2004年から6月を「男女平等月間」と設定し、職場や社会から男女差別をなくす取り組みや、男女平等課題が労働組合の取り組みの中心となることの推進に向け、全国統一行動として、全国の仲間とともに取り組むこととしています。

これを受けて、連合長崎女性委員会では、6月25日(土)に長崎県勤労福祉会館で、講師に長崎労働局雇用均等室 高倉悦子室長を招き、テーマを「女性労働者を取りまく状況と課題」として男女平等雇用機会

均等法の変遷等について講演を受け、格差は事実上解消していないことや、少子高齢化社会に向けた対策を行わないことは、企業の責任も問われるものであること等について学習しました。なお、学習会参加者数は、51名でその内18名が男性の参加者でした。

講師・長崎労働局雇用均等室 ▶
高倉悦子室長



◀ 講演を真剣に聞き入る参加者

第10回フォトコンテスト応募者募集中

- 募集期間 2011年5月23日(月)～8月31日(水) ※当日消印有効
- 応募資格 連合長崎組合員およびその家族、退職者
- 送付先 連合長崎事務所 (〒850-0031 長崎市桜町9-6 勤労福祉会館1階)
★詳しい応募要領は、連合事務局・各産別にお問い合わせください。
★必ず写真の裏に応募票を貼ってください。
- その他 入賞作品等については、連合長崎定期大会(地方委員会)会場での展示や、連合長崎の各種印刷物に使用する場合があります。

キリトリ

「連合長崎第10回フォトコンテスト」応募票					
タイトル				ジャンル	
フリガナ氏名		年齢	歳	性別	男 ・ 女
組合名	職場連絡先TEL () -			応募者	組合員 ・ その家族 組合員OB
自宅住所電話	〒	都道府県	区郡市	町村	番地番
	TEL ()		-		

ジャンル：◇人物 ◇風景 ◇花・植物・生物 ◇その他